

# 令和3年度 学校自己評価

※ 評価基準 4点（よくできた） 3点（できた） 2点（あまりできなかった） 1点（できなかった）

| No. | 分掌    | 評価達成目標   | 成果指標・取り組み内容  | 年度 | 4     | 3     | 2     | 1    | 評価平均 | 来年度に向けての改善の方策  |
|-----|-------|--|--|----|-------|-------|-------|------|------|--|
| 1   | 総務    | 児童生徒・職員が安心・安全に生活できる学校環境・職場環境をつくっていく意識を高める。                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>月1回、防災の日と安全点検の日を設定し、職員による生徒への講話や訓練、施設の点検を実施する。</li> <li>職員研修を実施する。</li> <li>職員会議等の時間を1時間以内に設定する。</li> </ul>                 | 前年 | 41.7% | 56.7% | 1.7%  | 0.0% | 3.4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な災害に対応できるように高い防災意識を持ち、施設点検や訓練等継続して取り組む。</li> <li>研究研修部と連携し、さらに実りのあるものにしていく。</li> <li>学部会、部会での事前の検討をしっかりと行う。また、会議前日に会議資料を閲覧できるようにする。</li> </ul>                      |
|     |       |  |  | 当年 | 52.5% | 44.3% | 3.3%  | 0.0% | 3.5  |  |
| 2   | 教務    | 個々の将来像の実現に向けた、『個別の指導計画の充実』を目指した検討を、月1回以上実施する。                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画の「重点目標」に関し、効果的な[活用の仕方(意義、実施の機会、他目標への反映の仕方など)]と、[活用の仕方]の教師間での共通理解の進め方について検討する。</li> </ul>                             | 前年 | 20.0% | 66.7% | 13.3% | 0.0% | 3.1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>(検討を平均月1.4回実施) 共通理解の進め方として、重点目標作成時の補助資料または説明の材料としてワークシートを使うことにしたが、使用後の反省を基に、R5年度からの県下統一様式との関連も含めて、細部の微修正を行う。また、より効果的な活用のための作成時のカンファレンス(クラス単位)の開催についても検討する。</li> </ul> |
|     |       |  |  | 当年 | 19.7% | 67.2% | 13.1% | 0.0% | 3.1  |  |
| 3   | 生徒指導  | マナーの向上と児童、生徒の主体的活動を充実させる。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学期に1回の登下校指導、年3回のスクールバス降車訓練を行う。</li> <li>生徒会行事や部、同好会活動など児童、生徒を共に活動させる。</li> </ul>  | 前年 | 38.3% | 58.3% | 3.3%  | 0.0% | 3.4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全学習や自力通学生の登下校指導を継続して行う。</li> <li>降車訓練については、災害を想定しながら工夫して行う。</li> <li>生徒会行事、部同好会活動を継続維持しながら活動内容を検討していく。</li> </ul>  |
|     |       |  |  | 当年 | 37.7% | 59.0% | 3.3%  | 0.0% | 3.3  |  |
| 4   | 進路指導  | 卒業後の生活を見据えたキャリア教育・就労支援の更なる充実を図る。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業や校内・校外実習、見学会、各種検定などの取り組みを通じて、児童生徒一人ひとりの生活に必要な力や働く力を育てる。</li> </ul>  | 前年 | 55.0% | 43.3% | 1.7%  | 0.0% | 3.5  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染状況に応じて、施設見学会を個別に実施していく。</li> </ul>  |
|     |       |  |  | 当年 | 54.1% | 44.3% | 1.6%  | 0.0% | 3.5  |  |
| 5   | 保健    | 児童生徒の健康な心と身体づくりを推進する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健だよりや掲示物、および全校朝会などで情報を発信する。</li> <li>身体計測、清潔検査、日々の健康観察を行う。</li> <li>感染症対策を徹底して行う。</li> <li>児童生徒の発達段階に応じた性教育を行う。</li> </ul> | 前年 | 25.0% | 65.0% | 10.0% | 0.0% | 3.2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康、安全に関する適切な情報を継続して発信していく。</li> <li>職員対象の性教育講演会を実施する。</li> <li>本校の性教育指針を周知し、児童生徒の発達段階に応じた性教育を実施するように促す。</li> </ul>  |
|     |       |  |  | 当年 | 42.6% | 52.5% | 4.9%  | 0.0% | 3.4  |  |
| 6   | 研究・研修 | 校訓やめざす学校像をもとに学部・学年目標を考えた上で、12年を見通した授業を検討する。また、それらにそった指導・支援ができるスキルを身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の実践研究を通して目標について話し合う機会を設ける。</li> <li>必要な職員研修を計画し、実施する。</li> <li>教員間の連携を図り、研修資料の共有を行う。</li> </ul>                          | 前年 | 31.7% | 58.3% | 8.3%  | 1.7% | 3.2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校目標や学部学年目標を日頃から意識し、授業計画を行うよう啓発する。</li> <li>課題に沿った研修を行い、教師の専門性の向上を図る。</li> <li>校外研修や出張などで得た情報を教員間で共有する意識を高めるためにグループウェアなどで情報発信をする。</li> </ul>                          |
|     |       |  |  | 当年 | 41.0% | 50.8% | 8.2%  | 0.0% | 3.3  |  |
| 7   | 支援    | 校内及び校外の支援と連携を推進する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内支援を推進する。</li> <li>学校園所及び関係機関との連携を充実させる。</li> </ul>  | 前年 | 28.3% | 56.7% | 13.3% | 1.7% | 3.1  | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内の授業補助業務を精選し、児童生徒への支援方法等、具体的な助言や援助を行う。</li> <li>自立活動分野の活動を充実させる。</li> <li>センター的機能のあり方を再考し、地域における本校の立ち位置を確立する。</li> </ul>   |
|     |       |  |  | 当年 | 32.8% | 52.5% | 13.1% | 1.6% | 3.2  |  |
| 8   | 管理情報  | ICT及び備品等に関わる学校環境の整備、またICT機器の有効的な活用を推進する。                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報室を整備し、授業や検定学習への対応、及び職員のオンライン会議参加への環境整備と支援を行う。</li> <li>職務遂行に有効的な情報(アプリ、ソフトなど)を発信する。</li> </ul>                            | 前年 | 38.3% | 55.0% | 6.7%  | 0.0% | 3.3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>より活用しやすいICT機器や備品の購入推奨、継続的な有効情報発信を行い、研修等を通して、教員全体のICTに対する苦手意識を徐々に解消する。</li> </ul>  |
|     |       |  |  | 当年 | 36.1% | 55.7% | 8.2%  | 0.0% | 3.3  |  |
| 9   | 小学部   | 児童の障害特性や実態の理解と適切な支援方法について、学部学年で検討し、取り組みに生かす。                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>学部会、学年会、実践研究の場で児童の実態について情報を出し合い、適切な支援について検討する。</li> <li>実践のために必要な体制をつくり、学年学部での共通理解のもとで取り組む。</li> </ul>                      | 前年 | 62.5% | 37.5% | 0.0%  | 0.0% | 3.6  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学部会や学年会で行う児童に関する定例報告を継続するとともに、必要に応じてケース会議を設定するなど、児童一人一人に応じた適切な支援ができるよう学部全体で共通理解して取り組んでいく。</li> </ul>  |
|     |       |  |  | 当年 | 52.6% | 47.4% | 0.0%  | 0.0% | 3.5  |  |
| 10  | 中学部   | 生徒一人ひとりの特性の理解とめざす将来像を明確にした教育活動を行う。                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員間で授業づくりについて話し合いの機会を定期的に持ち、望ましい課題設定を行う。</li> </ul>   | 前年 | 66.7% | 33.3% | 0.0%  | 0.0% | 3.7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態と将来を見据えた課題について共通理解を深めていく時間を積極的に確保する。</li> <li>仲間の中で育ちあう教育を推進する。</li> </ul>   |
|     |       |  |  | 当年 | 66.7% | 33.3% | 0.0%  | 0.0% | 3.7  |  |

| No. | 分掌    | 評価達成目標   | 成果指標・取り組み内容   | 年度 | 4     | 3     | 2     | 1    | 評価平均 | 来年度に向けての改善の方策   |
|-----|-------|--|---|----|-------|-------|-------|------|------|---|
| 11  | 高等部   | 卒業後の進路実現のために、多様化したニーズに対応する情報の収集と共有を行い、連携の取れた教育活動を行う。 | ・卒業後のライフキャリアを踏まえたカリキュラムの形成やマネジメントを行い、学協会や学年会などで情報を共有する。                                     | 前年 | 15.4% | 61.5% | 23.1% | 0.0% | 2.9  | ・生徒に関する情報の共有を継続して行い、連携強化に取り組むとともに、生徒の主体的な進路選択による進路実現を支援していく。                            |
|     |       |  |   | 当年 | 28.0% | 60.0% | 12.0% | 0.0% | 3.2  |   |
| 12  | 人権    | 自分を大切にし、お互いの違いを認め合い、思いやりや助け合いの心を育てる人権教育を推進する。        | ・人権に関する教職員向け研修や特別活動(国際理解学習)および学校生活全般を通して人権に配慮した教育活動に取り組む。<br>・日頃から人権に関する情報発信を行ない、教職員間で共有する。 | 前年 | 13.6% | 66.1% | 20.3% | 0.0% | 2.9  | ・職員研修だけでなく、日頃から様々な人権問題に関して意識を高めて活動する必要がある。人権に関する内容は多様であり、人権に関する情報を引き続き、積極的に発信していく必要がある。 |
|     |       |  |   | 当年 | 36.1% | 50.8% | 13.1% | 0.0% | 3.2  |   |
| 13  | 交流    | 学校、地域間交流を通して、人間関係を広めてお互いの理解を深める。                     | ・交流相手との事前・事後の打ち合わせを密にする。<br>・事前学習を通して児童・生徒に見通しを持たせる。  | 前年 | 24.1% | 51.7% | 22.4% | 1.7% | 2.9  | ・学校間の交流は実施できているが、地域間の交流が難しい状況である。対面交流にこだわらず、交流の内容や人数、場所などを検討しながら交流の場を増やしていく。            |
|     |       |  |   | 当年 | 31.1% | 50.8% | 14.8% | 3.3% | 3.1  |   |
| 14  | コロナ対応 | 感染防止対策を徹底する。   | ・丁寧な健康観察、手洗いの励行、マスクの着用を徹底する。<br>・3密を避ける指導方法や学校全体の対策を徹底する。<br>・感染防止対策のための環境整備を行う。            | 前年 | 30.0% | 53.3% | 15.0% | 1.7% | 3.1  | ・今後の感染拡大局面に備えて、県の方針を丁寧に確認しながら、これまで行ってきた感染防止対策を徹底していく。                                   |
|     |       |  |   | 当年 | 37.7% | 57.4% | 4.9%  | 0.0% | 3.3  |   |